

図2 有珠山 最近の火山活動経過図（1995年1月～2007年9月）

↑印で挟まれた期間は2000年噴火活動期

・2000年9月以降、地震回数は1日あたり概ね5回以下で推移しています。

1) 赤外放射温度計や赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感知して温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

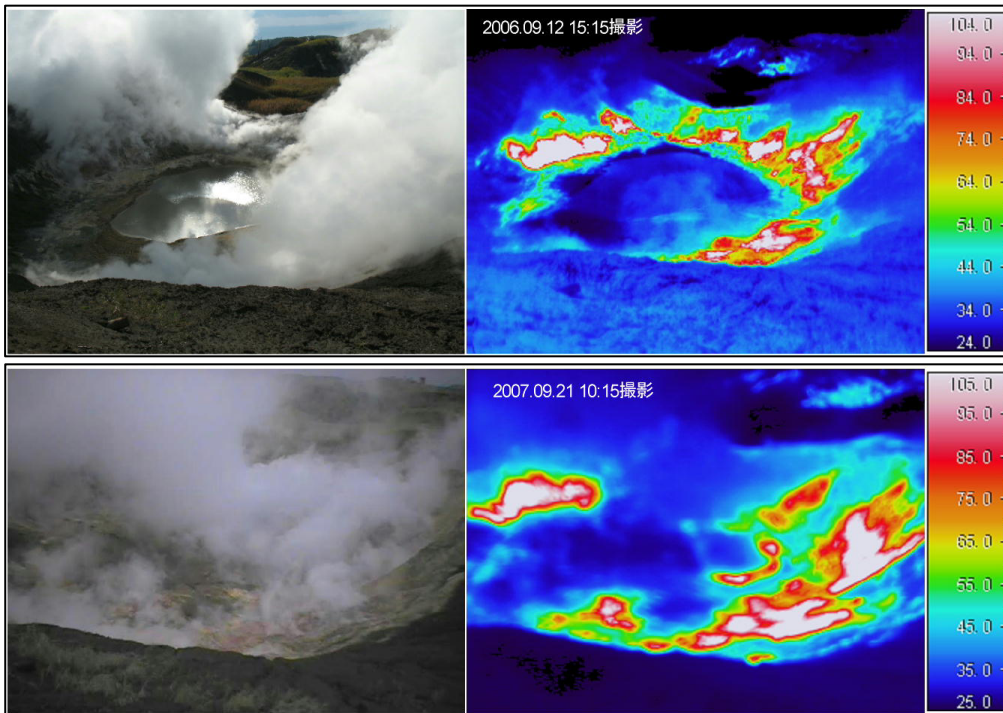


図 3 有珠山 赤外熱映像装置<sup>1)</sup>による N-B 火口の表面温度分布  
 (上段：2006 年 9 月 12 日、下段：2007 年 9 月 21 日撮影)



図 4 有珠山 山頂火口原 (2007 年 9 月 18 日撮影)

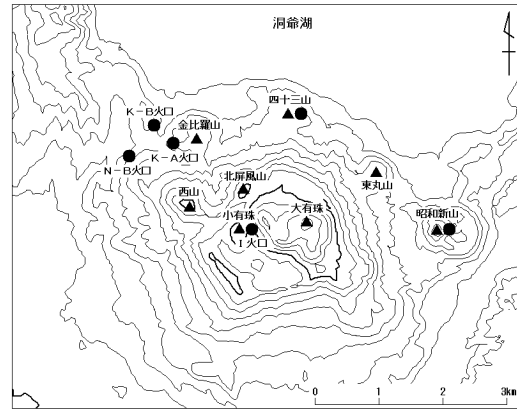


図 5 有珠山 火口周辺図

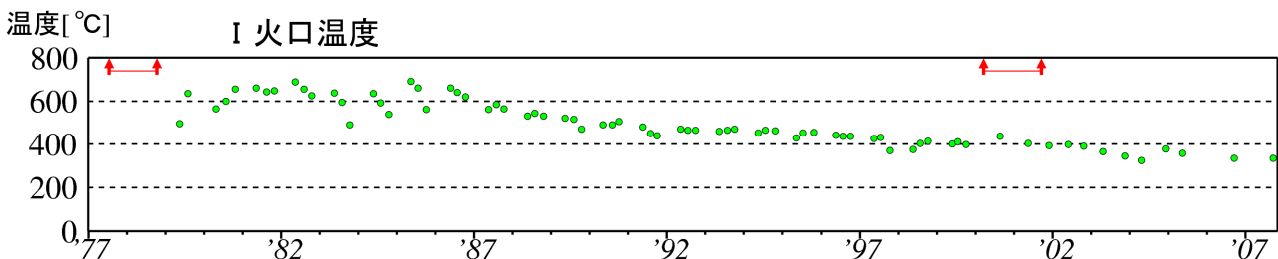


図 6 有珠山 I 火口温度の推移 (1995 年 1 月～2007 年 9 月)

- ・ N-B 火口の火口壁では噴気活動が続いており、熱的に高い状態で推移しています。
- ・ I 火口、小有珠南東麓では、多数の噴気孔から火山ガスが勢いよく噴出していました。I 火口の噴気温度は約 330°C (前回 2006 年 9 月: 約 340°C) と依然高温の状態が続いていますが、長期的には低下傾向にあり、1977 年噴火時に貫入したマグマの冷却過程を示していると考えられます。

表 1 有珠山 地震・微動の月回数（A点：図7のUSUA）

2006～2007年	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
地震回数	34	33	37	40	36	24	37	33	26	26	41	20
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

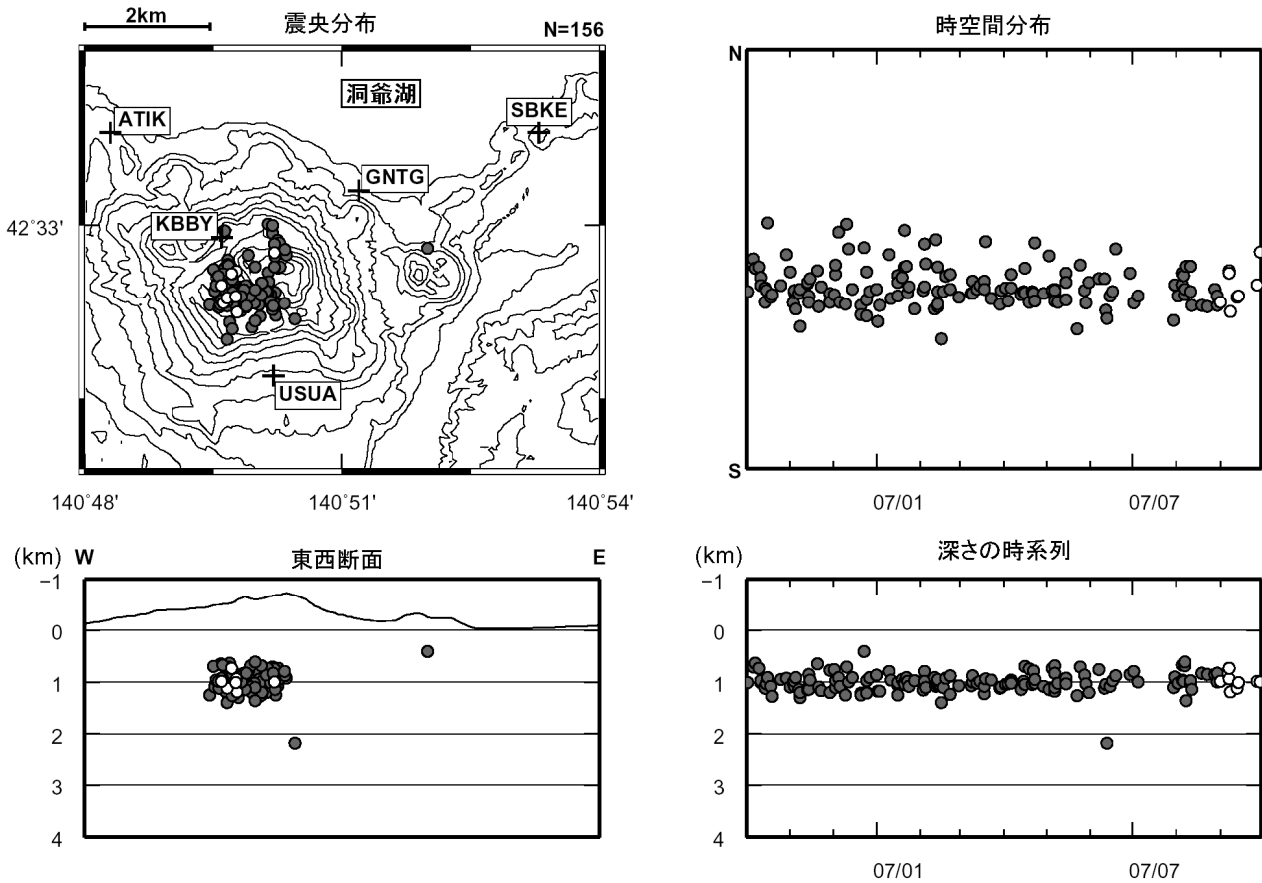


図 7 有珠山の震源分布図（2006 年 10 月～2007 年 9 月、+は地震観測点）

- 印は今期間（2007 年 9 月）の震源
- 印は前期間までの 11 ヶ月間（2006 年 10 月～2007 年 8 月）の震源
- ・前期間までの震源は山頂部直下の浅い所（山頂から深さ 1.5km 付近）に集中しています。今期間に求まった震源もこの領域内に分布しています。

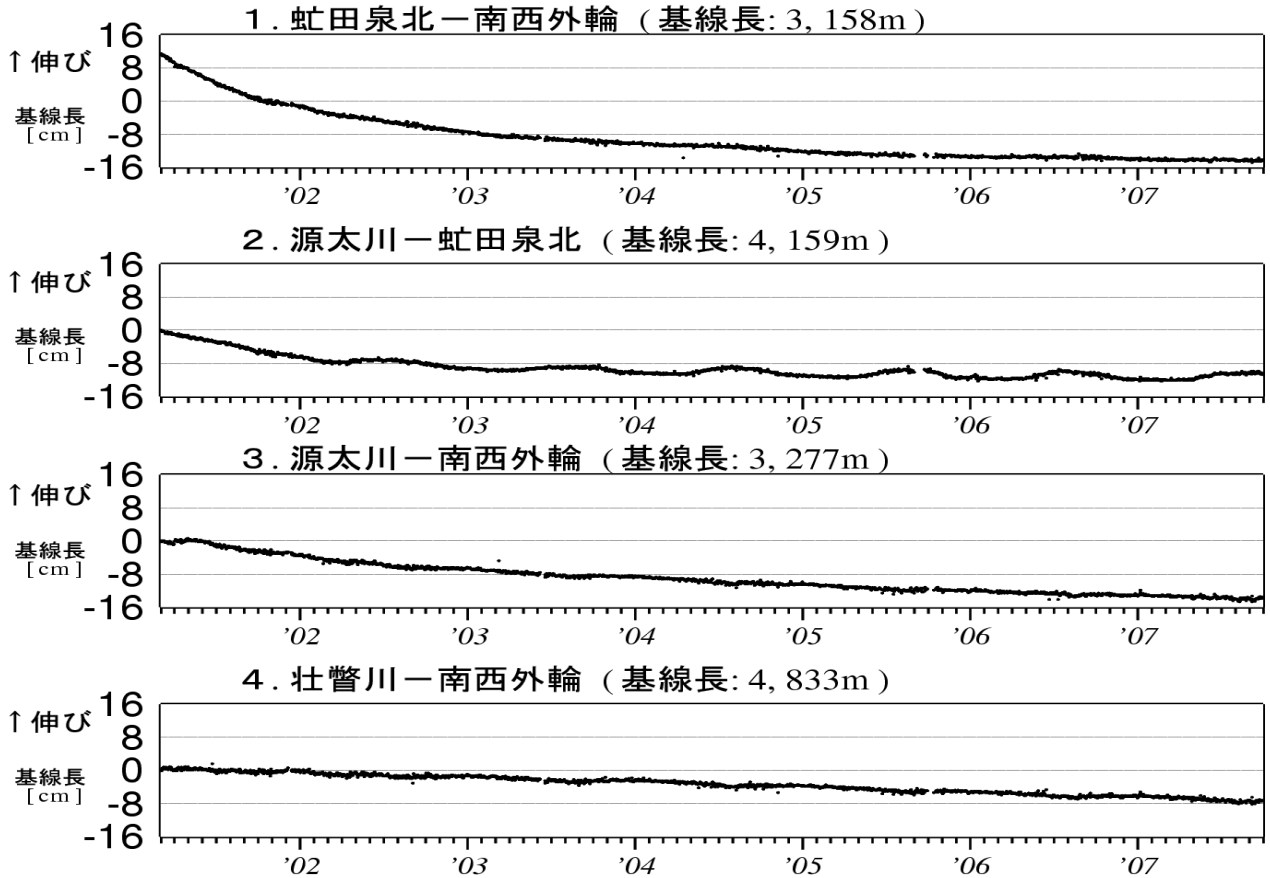


図8 有珠山 GPS連続観測による基線長変化（2001年3月～2007年9月）  
 グラフの空白部分は欠測  
 図8の1～4は、図9のGPS基線①～④に対応しています。

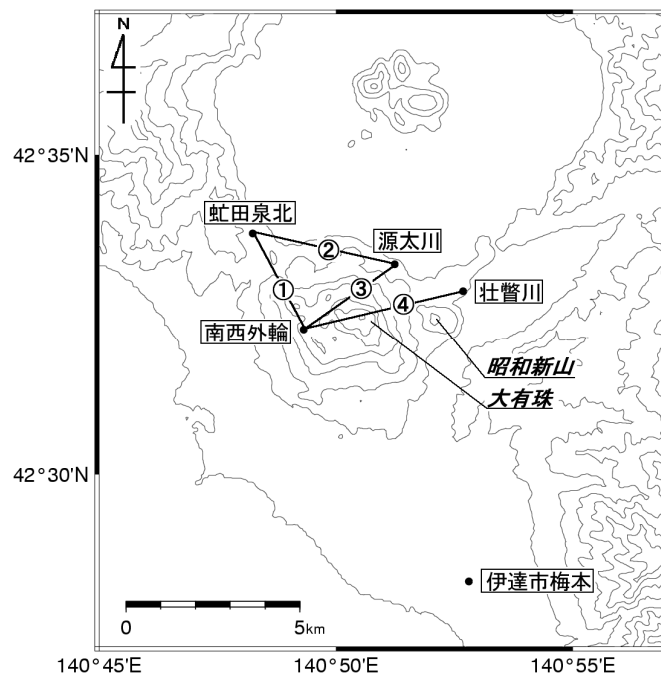


図9 有珠山 GPS連続観測点配置図

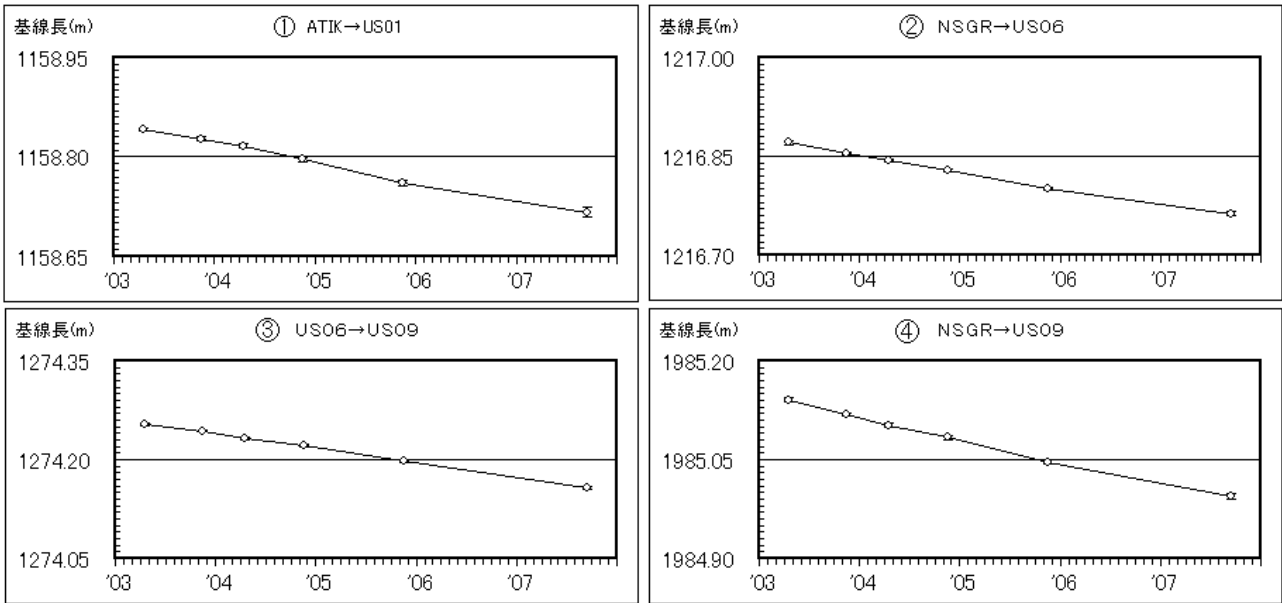


図 10 有珠山 GPS 繰り返し観測による基線長変化  
 (2003 年 4 月～2007 年 9 月、図 10 の①～④は図 11 の基線①～④)

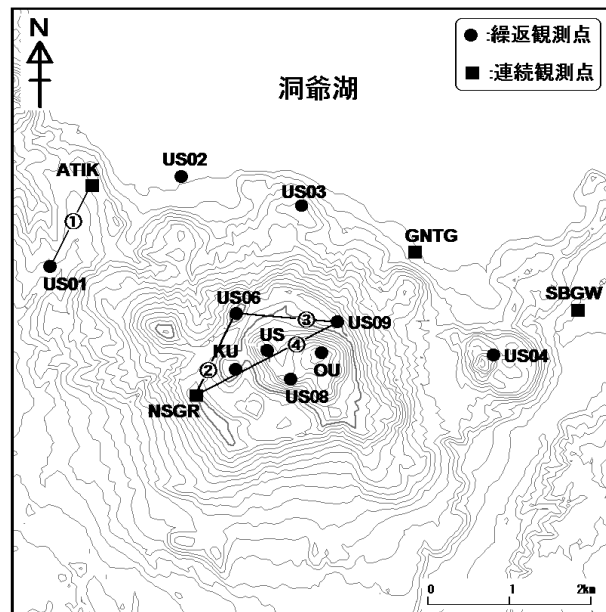


図 11 有珠山 GPS 繰り返し観測点配置図

・GPS 繰り返し観測では、2000 年の噴火活動域（図 10 の①）及び山頂ドームを囲む基線（図 10 の②～④）で引き続き収縮傾向が認められました。